

LEFシリーズが仕事内容を変えた? シルク+レーザー+UVが生む高品質



シルク印刷、レーザー加工、
厚物UVプリント。3つの
製法を活用し、互いの欠点を補つ
て長所を活かしたモノづくりをお
こなっているのが、株オバタ工芸
(埼玉県草加市)だ。

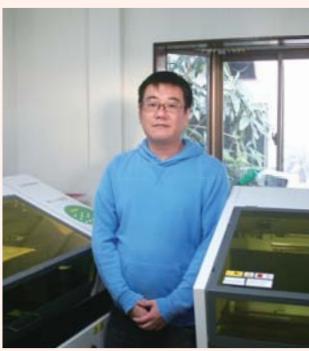
創業は昭和54年。プラスチック
や金属へのシルク印刷を得意とし
てきたが、時代の流れで大量ロッ
ト注文が海外へ流出するようにな
った。シルク印刷一本では厳しい
と判断した同社は、12年前にレー
ザー加工機を導入し、アクリルカ
ットの仕事を始めた。受注する仕
事はキーホルダーなどのカット
で、忙しい時期には数万個単位の
仕事を受注。これに対応すべく、
同社はレーザー加工機を増設し、
計3台でアクリルカットの仕事を
こなすようになった。

転機となつたのは、イタリア・
SEI社のCCDカメラ付きレー
ザー加工機「ドラゴン」の導入。
この機種はアクリルにプリントし

た絵柄の輪郭をカットできる機能
が搭載されている。それを頼りに
した業者が、オバタ工芸にプリ
ント後のアクリルカットをオーダー
するようになったのだ。

「印刷後のアクリル板をトンボ読
みして切る仕事が一気に増えたの
で、これからUVプリントが主流
になると感じた」と、同社主任の
小畠一孝氏(37)。その時流を掴む
ため、3年前に導入したのが、ロ
ーランドディ・ジー・株の厚物
UVプリンター「LEF-12」だ。

LEF導入で急増した プリント&カットの注文



company profile

株式会社オバタ工芸
〒340-0004
埼玉県草加市弁天4-17-11
<http://obata-print.com/>
【事業内容】
◎各種アクリル製品の
レーザー加工と各種印刷加工
◎スマホソフトカバーへの
印刷加工
◎アクリル封入用シルク印刷
◎各種ノベルティグッズの
レーザー加工と印刷加工など

②小畠一孝氏とLEFシリーズ。

以前からUVプリンターの存在
を知っていた小畠氏は、周囲の同
業者が他メーカーの厚物UVプリ
ンターを使つている様子を見なが
れ、自社でも導入するタイミング
をずっと伺つていた。その時、発
売直後だった「LEF-12」に、
オバタ工芸が目指す新たなアクリ

ル加工の可能性を感じたと言う。
小畠氏は、「LEF-12はプリ
ント品質がとにかくキレイ。ドッ
ト感がなく、淡いグラデーション
も繊細に表現できるんです」。
さらに、「弊社はアクリルの曲
リルのプレスレットなどは1日に
2~3000本曲げることができます。アクリ
ルの曲げ加工に耐えられ



オバタ工芸の製造システム。上写真はLEF-12が2台、LEF-20が1台の計3台が並ぶ作業場。右上は工場に設置されたCCDカメラ付きレーザー加工機「ドラゴン」。右下は長年使われてきたシルク印刷機。

下はアクリルキーホルダー製作の様子。左から、LEF-20でアクリルにプリント。「ドラゴン」でトンボを読んで輪郭をレーザーカット。離形紙を剥がして完成。カットの断面が滑らかなので、仕上げが必要ない。



るほど「軟性」のあるインクが欲しかった」。

「LEF-12」を導入したことでも、オバタ工芸の仕事内容は一変した。以前から要望のあつた「アクリルへのプリント&カット」の仕事が増えてきたのだ。

これまで外注かシルク印刷で対応していたアクリルへのプリントだが、多色やグラデーション表現、小ロット生産を求められると、コストや納期の面で対応しきれなかつた。しかし「LEF-12」の導



入で内製が可能にな

り、コストや納期の問題も解決。既存の取引

先からプリント、アクリルカットまで一括し

た注文が急増した。その結果、日本を代表するアーティストのライブグッズや人気アニメのキャラクターグッズなど、様々な注文が舞い込むようになった。

ライブやキャラクターグッズに特化した同社の顧客は、主に広告代理店や企画会社など。営業活動は一切行っていないため、PRはホームページのみ。自社の設備や技術を解

説したサイトを作ったところ、「月に4~5件は新規の問い合わせがある」(小畠氏)。新規客からの注文も増え、現在では仕事の90%がアクリルのキーホルダーなどグッズ製作になつた。

「アクリルへのプリント&カット」の仕事が増加した同社は、昨年「LEF-20」を追加で導入。それでも間に合わなくなり、最近になって「LEF-12」をもう1台追加。今では計3台のLEFで仕事をこなしている。

シルク印刷の技術でUVの表現力が広がる

同社の特徴は、アクリルグッズ製作のほとんどにレーザー加工、シルク印刷が関係している。LE Fでプリント後にレーザーで切り抜くのはもちろん、その上から金や銀などの特色をシルク印刷することも珍しくない。小畠氏は、「シルクもレーザーもLEFも混在しています。LEFがあつてもシルクは必要。むしろ、これまでシルク印刷で培ってきた技術を生かすことで、UVプリントの表現力が大きく広がっています」。

同社では、支給されたデータをただアクリルにプリントするだけではなく、LEFに搭載されている様々なカラー設定を駆使して、ク

ライアントが最適と思えるプリント品質を実現している。

VersaUV LEF-12i



標準価格:

寸法:999(幅)×862(奥行)×549(高さ)mm
重量:85kg
設置可能材料:
最大335(幅)×310(長さ)×100(高さ)mm
最大5kg
印刷範囲:最大305(幅)×280(長さ)mm
印刷解像度:最大1,440dpi
使用インク:ECO-UV(EUV、EUV4) 220cc

「嬉しいのは、クライアントの先にいる、色表現や画質にシビアな目を持つお客様から『印刷がとてもキレイ』と言つてもらえること。高品質な商品を提供し続けていれば、自然と仕事は集まつてきますから」(小畠氏)。その高品質を支えているのは3台のLEFと、同社が長年培つてきたシルク、レーザーカットの技術なのだ。

販促製品総合WEBカタログ

株式会社フジテックス

0120-522-664

<https://www.fjtex.co.jp/hansoku/>

※印刷時に発生する臭気や揮発性物質を活性炭フィルターで除去する専用脱臭装置は別売り。